

米子市新型コロナウイルス感染症対策本部会議及び米子市感染症総合対策会議 会議録

日 時 令和2年5月15日（金）午後4時30分から5時

場 所 米子市役所本庁舎4階401会議室

出席者

本部長 市長

副本部長 副市長、教育長

本部長 総務部長、防災安全監、総合政策部長、人権政策監、市民生活部長、福祉保健部長、こども未来局長、経済部長、文化観光局長、農林水産振興局長、都市整備部長、下水道部長、淀江支所長、会計管理者、議会事務局長、教育委員会事務局長、水道局長、鳥取県西部広域行政管理組合事務局長、米子消防署長

議事

- (1) 緊急事態宣言の一部解除について
- (2) 市民生活の維持と経済活動の回復に向けて
 - 米子市における現状と国・県・市の対応
 - 市の集客施設等の利用制限の緩和について
- (3) その他

概要

開会（本部長）挨拶

伊木市長

39県の緊急事態宣言が解除され、国が示した新しい生活様式に対応しなければならぬ局面に入った。国や県からのガイドラインも出ているので、市としてもそれらを踏まえて対応していく。5月11日付けで「米子市感染症総合対策会議」を組織したが、今までの「米子市新型コロナウイルス感染症対策本部」と共に市民への支援をしていく必要がある。

- (1) 緊急事態宣言の一部解除について

景山福祉保健部長

外出自粛は要請しないが、県をまたいだ移動は少なくとも今月中は控えてほしい。気を緩めず。引き続き感染拡大防止を実践してほしい。

伊木市長

県をまたいだ大規模イベントは引き続き自粛いただきたい。県内の人のみで屋内なら 100 人以下、屋外なら 200 人以下であれば、3つの密対策を徹底した上でイベント等開催は可能。

(2) 市民生活の維持と経済活動の回復に向けて

八幡総合政策部長

持続可能な取組をみなさまとしていきたい。部局を越えた取組をしていきたいので、協力を願いたい。今後の取組については、市役所だけではなく、関係団体や市民の方と共に対策を推進していく。まずは各部局において、所管の関係団体へのヒアリングや、国や県の動向把握をしていただきたい。

伊木市長

各部局においては、責任を持って自身の部局のことを把握していただき、施策について本腰を入れてほしい。

辻総務部長

市民の方からは国や県、市が何をしてくれるのか関心を持たれており、それを一覧にしたチラシを今月中に新聞折り込み等で配布を検討している。

また、資料のとおり市有施設の利用制限の緩和を行う予定である。

伊木市長

一部の施設では、クラスター対策として利用者名簿の設置をした上で再開する。児童文化センターのプラネタリウムについては、今回は再開を見送るものの、他事例を参考に、例えば、定員の半分以下で運営するなど、方策を検討していきたい。

(3) その他

浦林教育長

小学校については1学期中に学習内容の挽回を図り、2学期を迎えたい。

中学校については小学校よりも少し夏休み開始を遅らせることを検討している。入試に影響が出ないように、前倒しで授業を進めていきたい。部活動についても制限を徐々に緩和していきたい。